

課題解決に向けた行動計画

市立伊丹病院

2022年度
第2回地域緩和ケア連携調整員研修 ベーシックコース

【チームメンバー】

参加施設・所属	氏名 (職種)
市立伊丹病院	堀木 優志 (医師)
	大山 知子 (看護師)
	山下 加奈 (看護師)
	千原 里美 (薬剤師)
	川上 ひとみ (MSW)

① 選定した地域の課題

1. 地域の在宅医、後方支援病院、施設で対応できる医療資源（輸血、腹水穿刺、麻薬など）のリスト化ができていない。
2. 伊丹市内の緩和ケアに係る医療機関、福祉の関係者のニーズを把握できていない。
顔の見える関係が構築できていない。
3. 3年後の近畿中央病院との統合に向けて、お互いの課題がわからない。

② どんな地域を目指すのか

- 療養場所に関わらず、がん患者、家族が安心して療養できる地域
- 適切な緩和ケアを受けることができる地域

③ 目指す地域を実現するために取り組むべきこと

1. 近畿中央病院の地域連携室とがん相談室と情報交換を行い、お互いの課題を共有する。
できれば一緒に課題解決に取り組む。
2. 地域医療室前方班と協働し、開業医のニーズ、緩和ケアに関する情報を整理する。
3. 病院事業管理者・病院長を通じて、医師会と緩和ケアに関する情報を共有する。

④ 具体的な行動計画と ⑤ 目標達成時期

1. 伊丹市のがん患者に関するデータを整理する。
使用しているツールを確認する。
2. 近畿中央病院と連携して勉強会開催
(近隣のがん拠点病院との情報交換)
⇒ 2023年2月 状況把握
3. 勉強会、ケースカンファなどを開催し、
緩和ケアに関する意見交換を行う
⇒ 2023年度内に1回開催する

地域連携室とがん相談支援室が主体で計画する